

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 6 6	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Parental rules and monitoring of children's movie viewing associated with children's risk for smoking and drinking. 子供の映画鑑賞に対する両親が決めた規則と監視と子供の喫煙・飲酒リスクとの関連	
執筆者	
Dalton MA, Adachi-Mejia AM, Longacre MR, Titus-Ernstoff LT, Gibson JJ, Martin SK, Sargent JD, Beach ML.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Pediatrics. 2006 Nov;118(5):1932-42.	
キーワード	
喫煙、アルコール、映画に対する曝露、両親の監視、子育て、子供の危険行動	
<b>要 旨</b> <b>目的：</b> 研究結果により、メディアによる喫煙・飲酒利用の描写は思春期の喫煙・飲酒の重要な予測因子であることを示唆している。われわれは子供の映画鑑賞の曝露に対する両親の監視・制限の役割について検討し、それらが思春期の喫煙・飲酒のリスク低下と関連があるかを検討した。	
<b>研究デザイン：</b> 我々は2606組の親子を2002年と2003年に調査した。われわれは9-12歳の子供に両親がどのくらいの頻度で、映画鑑賞を監視するような特別な行動をするか、両親が成人指定の映画を見ることを許すか、について質問した。われわれはまたメディアと関係ない行動に関する両親の監視についても子供たちに調査した。主要アウトカムは喫煙、飲酒のリスクであり、いずれかの薬物に対して疑わしき態度をとったり、早くに経験したこととして定義された。	
<b>結果：</b> 半分以下(45%)の子供が成人指定の映画を禁止されていた。成人指定の映画を許された人の中で、3分の1(34.7%)は両親と一緒にいつも見ており、3分の2(65.3%)は両親なしにときどき見ていた。両親が映画に対する監視行動4つ全てに常に関係していると答えた子供は10%未満であった。メディアと無関係の行動に対する両親の監視や他の変数を調整しても、両親が成人指定の映画の鑑賞を禁止した場合、子供は喫煙や飲酒に対して低リスクであった。成人指定の映画を両親とともに見ることは子供の喫煙のリスク低下と関連していたが、両親が子供が何を見ているか継続的に監視した場合でも、飲酒ではリスク低下が見られなかった。	
<b>結論：</b> 両親が規則を決め子供が映画を見ることを監視することは、メディアと関連しない行動の監視を凌駕するほどに、子供が喫煙・飲酒するリスクに予防的な影響を与えた。これは親が担う、思春期の喫煙・飲酒の使用の早期開始を予防する潜在的な役割を示している。	